

よしかわ

News from Yoshikawa City Council

議会だより

No.189

2021.5

発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒：342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地
TEL.048 (982) 9421 (議事会事務局 直通)
FAX.048 (981) 5392
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>



目次CONTENTS

定例会概要	2
予算	2
代表質問	4
委員会審査概要	6
答えて市長！一般質問	9
審議結果	14

議会だよりが
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検索



3月定例会 概要

令和3年度一般会計予算 225億8000万円ですター

令和3年3月定例会は、2月24日から3月19日までの24日間の開催となりました。

今定例会では、市長の施政方針に対し、各会派が代表質問を行いました。（代表質問の要旨は4ページから5ページ）

また、一般会計予算をはじめ、各特別・企業会計の当初予算のほか、吉川市空家等の適正管理等に関する条例などの市長提出議案32件、議員提出議案として2件の意見書などを審議し、議決しました。委員会での審査概要は6ページから7ページ、「市政に対する一般質問」は9ページから13ページ、意見書の内容は13ページでお伝えします。



◆一般会計予算
こんなことに使われます

「減災アプリの導入」を行います。

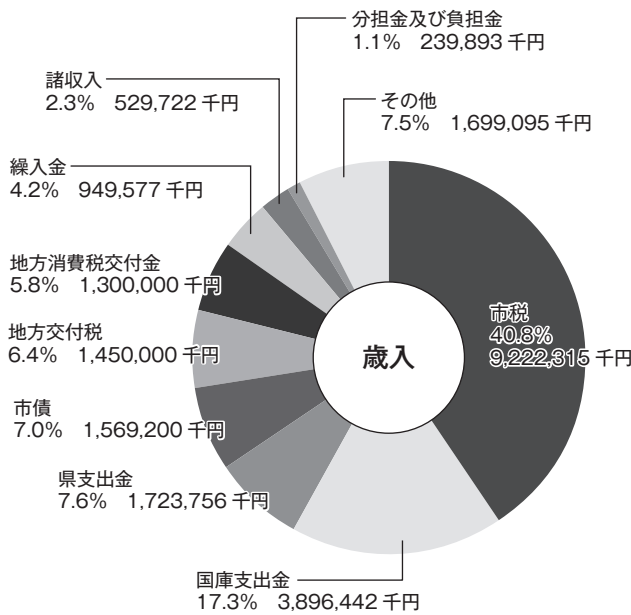
◆減災対策事業

2508万9000円

スマートフォンでハザードマップや防災情報が掲載された防災マップの確認ができる



会計



◆公共交通機関整備改善推進事業
3811万8000円

高齢者の地域生活を支える移動支援として、平成29年12月より試行的に始めた「タクシー利用料金助成事業」について、検討委員会での「現行の取り組みは妥当」との検証結果を受け、令和3年度も引き続き実施します。



◆教育振興事業

1億8187万6000円

全校に配備された一人一台のタブレット端末を活用し、「主体的、対話的で、深い学び」を実現するICT教育を推進していきます。

●特別会計

会計別	予算額 (千円)	前年度比 (%)
国民健康保険	6,775,369	1.5
農業集落排水事業	38,409	25.8
介護保険	3,951,784	1.2
後期高齢者医療	776,745	4.0
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業	3,195,257	△ 13.5
合計	14,737,564	△ 2.1

特別会計など
新年度予算決まる
5つの特別会計と水道事業会計、下水道事業会計の令和3年度予算は左表のとおりです。

主な議案のあらまし

○吉川市空家等の適正管理等に関する条例

市民の生活環境の保全及び公共の福祉の増進並びに地域の健全な発展に資するため、空家等の発生の予防、活用及び適切な管理の促進に関し必要な事項を定めます。

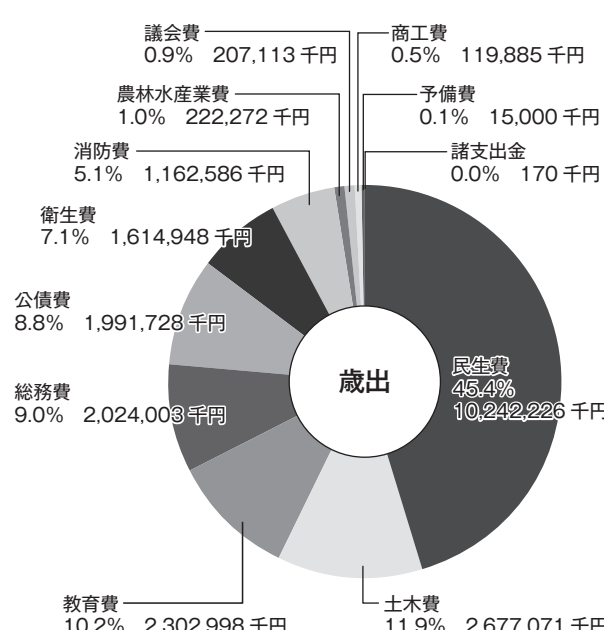
○障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート基金条例

障がい者が、住み慣れた吉川市で安心して生活していくことを支援するため、ご寄附いただいた寄附金等を積み立てて運用する基金を設置します。

○工事請負契約の締結について

吉川美南駅東口周辺地区盛土工事(その11)を締結し、企業誘致を行う商業・業務ゾーン及び産業ゾーンの盛土工事を進めるとともに住宅ゾーンの地盤沈下を促進するための地盤改良工を実施します。

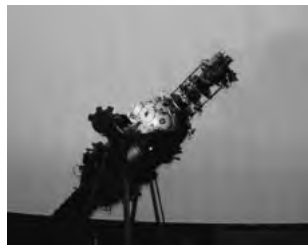
〈一般



◆天文学科学運営事業

207万円

市民の宇宙への関心をさらに深めるため、児童館ワンダーランドのプラネタリウム番組を5年ぶりにリニューアルします。



◆商業活性化推進事業

439万2000円

7月2日の「なまずの日」のイベントにおいて市制施行25周年を記念した「なまずのぼり」を作成します。「なまずの里吉川」の認知度を高めるとともに、「全国なまずサミット」において全国に向けたPRを図ります。

◆社会教育推進事業

831万3000円

「文藝よしかわ」第6号を

◆公園維持管理事業

2億4440万9000円

美南中央公園になまずをモチーフとしたタイル画を市民参加により制作します。

また、保第3公園に市民の皆さまから「災害時対策」との要望を踏まえ、かまどベンチなどを設置するとともに、園内にある既存の水の流れを活かした公園再生を進めます。その他、子ども達からの意見やアイデアを活かした公園整備にも努めます。



刊行します。また、「文藝よしかわ」の番外編企画「ハイク(俳句)探検団」についても俳句協会の皆さまのご協力の下、実施します。
その他、一流芸術に触れる機会として、チェロ奏者の加藤文枝氏とピアノ伴奏者の小澤佳永氏をお招きし「生音コンサート」を実施するなど、文化芸術の振興を推進していきます。

●水道事業会計

収益的収入及び支出	予算額(千円)	資本的収入及び支出*注	予算額(千円)
水道事業収益	1,583,338	資本的収入	82,605
水道事業費用	1,570,829	資本的支出	791,864

●下水道事業会計

収益的収入及び支出	予算額(千円)	資本的収入及び支出*注	予算額(千円)
下水道事業収益	1,435,324	資本的収入	786,624
下水道事業費用	1,395,441	資本的支出	1,014,713

注：事業会計において資本的収入が資本的支出に對し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんする。

中原市長の施政方針に

会派代表者が問う！

◆市長の施政方針◆

【四つの重点テーマ】

- ▼市民の安全・安心を高める
- ▼子どもの笑顔で満たされたまちをつくる
- ▼まちの価値を高める
- ▼まちの住みよさを高める

「生命を守る」を最優先に、そして「生活を支える」「地域経済を後押しする」を重要事項として、多くの皆さまからのご意見を踏まえ、国や県などの関係団体との連携の中で、状況に応じた適切なコロナ対策をスピード感をもって行つてまいります。

自由民主党

吉川市議員団

松崎 誠



問 ①市民の安全安心を高めるのうち、第一排水区の治水対策は②少年センターのうち、名称を適応指導教室から教育支援センターに変更、相談員・補導員1名増員の内容等は③東埼玉テクノポリス拡張について優先順位を変更した経緯は④三輪野江地区の農業拠点エリアは、市の課題としてどのような地域であると考えられているのか⑤吉川駅北口駅前ロータリー改修の具体的イメージは⑥総合運動公園整備を断念して分散型に変更するのか⑦旧庁舎の活用と今後のスケジュールは。

答 ①管渠を含む洗い出しや、中川への排水量変更の協議を進めていく②義務教育までではなく、当市で育った全ての子どもたちの未来を支えていきたい③テクノポリスの拡張については、三輪野江地区の白地の整備を計画的に進捗させなければ農林調整を進めることは非常に困難であることから、優先順位の変更をした④都市近郊農業を確立するため必要なエリアと認識⑤歩道のバリアフリー化や車両の混雑緩和を図っていく⑥機能充実を求める市民ニーズを踏まえ、市有地や関係団体所有地を分散型で整備していく⑦福祉に関連する周辺地域の皆様にアンケート調査を実施し、この結果を参考に基本構想を策定していく。

日本共産党

吉川市議員団

雪田きよみ



問 コロナ対策として、県は社会福祉施設と医療機関の職員及び新規入院・入所者にPCR検査を実施するとした。在宅療養者への視点がなく、不十分。市の施策は。

答 生活保護は権利、ためらわずに相談をとのアピールを強化するべきと考える。
問 社会福祉協議会と連携し、丁寧な相談体制を構築したことが一因。今後丁寧に進めていきたい。
答 昨年12月、朝日新聞社会面で草加保健所の厳しい現状が大きく報道された。厚労省の調査で、2018年末現在人口10万人あたりの保健師

市民の会

・無所属

稲垣 茂行



問 この1年間の総括と市の現状と課題は。
答 これまで、PCR検査センターの設置をはじめ一人親世帯への一時金、雇用・事業継続支援、プレミア

答 接種会場を確保しコールセンターと予約システムを整備。必要な人員・物品の確保等を進めている。接種率の向上は、メリットとデメリットを正しく市民へ伝えていくこと。医師会からは、「全面的に協力する」との言葉を頂いている。
問 コロナ後の社会変化に対応した「まちづくり」の考え方は。
答 第6次総合振興計画では、新た

答 クラスターを防ぐ、高齢者のいのちを守る、そこに働く人々を支える意味では、市も方策があると思う。県と協調し組み立てていく。

問 雇用危機により、非正規労働者やシングルマザー等が更なる生活困窮に追い込まれている。女性自殺者が増えている。当市では、コロナの影響での生活保護申請は少ないとの

数全国平均41・9人に対し、草加保健所はわずか1.8人とのこと。市として、県に対し保健師の増員を求めるべき。

答 県と保健所業務の実施に関する協定を締結しており、要請に応じ保健所業務に従事できる体制を構築している。必死で働く保健師をいかに支えるか、県と協同していく。

未来会議

よしかわ

戸田 馨



◆教育において最も大事な視点は

問 子供達への「教育に」において、まず、子供達が根本に持つべきものをしっかりと理解させること、その上で「自走する力」が重要であると考ええる。そうしたことを踏まえて、ICT導入にあたりこれからの教育に臨むことは。また、グローバル化、人工知能技術の進化など変化の激しい時代において、子供達は何を学び、どのような力を持つことが必要か。

答 激しい変化は常に起こっている。それがコロナ禍で顕在化した。子供達はそうした時代の変化に大人よりも柔軟に対応している。

タブレットに関しても、小さな子供でも上手に使いこなしている。そうした事を踏まえての「教育とは」と言えば、一番は「生きていくための力を身につけること」であり、そのために一番必要な力は「体力」だと考える。体を鍛える、そして食べ物にしっかりと意識を配る、この二つが教育の一番最初だと考える。高齢者の課題でも「運動」と「食」が問題となり、そこが生きていく上で原点である。その次に「人」として何が正しいのかを探求し判断できる力「学力」、そして大事なものはそれを「実現する力」「非認知能力」であり、それらの力が教育の中で子供達に備わることが重要と考える。

公明党

吉川市議団

小野 潔



△商品券の発行、タブレット端末の整備等を行ってきた。市民には感染拡大への不安と行動の制限が続く疲弊感が漂う。事業者も制約の中で影響を受けている。課題は、市民の生命を守り社会・経済活動との両立を図ること。

問 「ワクチン接種体制」づくりと接種率向上策。医師会との調整は

な生活様式や多様な働き方等、これまでと異なる社会・経済状況を的確に捉え、SDGsの視点で未来を見据えた計画づくりに取り組む。

また、吉川美南駅東口周辺開発事業ではライフスタイルの変化や企業の動向を注視しながら、引き続き計画を進める。

問 ①今後の感染症予防対策、ワクチン接種への所見は。②「第6次総合振興計画」「吉川市都市計画マスタープラン」の改定、「吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定、「吉川市環境保全指針」の改定、「環境行動計画」の策定、「文化芸術にかかわる条例整備」「SDGsとの関連性も意識した計画」と策定目白押しの一年、所見を。③流域治水の考え方は。④「小学校全学年35人学級への移行を段階的に進めていく」とは。⑤「コミュニティスクール」の段階的導入とは。⑥LGBT「パートナーシップ認証制度」の導入の考

えは。⑦障がい者福祉、基金設立の目的、規模感、使い道、将来展望は。⑧人農地プランへスマート農業の視点を。

答 ①市民の命と暮らしを最優先で守る。②将来目指すべき姿と理念を共有し持続可能なまちづくりを進める。③流域の各自治体と協力し治水安全度を図る。④令和3年度は第3学年、以降1年毎に1学年ずつ実施し令和6年度に全小学校実施を目指す。⑤本年度は吉川中学校区（中曽根小、美南小、吉川中）でその後全中学校区へ。⑥丁寧検討していく。⑦障がい者の就労、グループホーム支援へ役立てたい。現寄付金1800万円をスタートとする。⑧生産性を上げていくにはこの方法しかないと考えている。

委員会審査概要

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします

総務水道常任委員会

◆吉川市一般会計補正予算 特別額給付金未申請96世帯について。一人暮らしや高齢者への対応は。

民生委員や福祉部門等と連携して対応をした。申請漏れは概ねなかった。申請意欲のない世帯もあったと認識。 新型コロナウイルス感染症 臨時交付金について。実施計画の内容は。

これまで一般財源で処置したものの充当や繰越明許で次年度に持越す事業がある。分散勤務用端末整備、市民農園再整備、旭小、栄小のトイレの洋式化改修工事等。

賛成全員で可決

◆吉川市一般会計当初予算 固定資産税の減額理由。都市計画税と連動か。

固定資産税は3年ごとの評価替えにより約2億2800万円減等。都市計画税も同様に減少。固定資産税、都市計画税共に、新型コロナウイルスの影響によるものは全額補填措置に。

高速鉄道東京8号線負担金が令和4年から3年間で493万円。負担割合は。

沿線自治体である草加、越谷、八潮、吉川、松伏、野田で均等割りとし、同額負担とする協定を結んでいる。

タクシー利用助成事業検討委員会の今後の在り方。今年度同様、有識者、公共交通事業者、国、県の関係者、地域の方々に公共交通全般に関してご意見を頂きたい。

賛成多数で可決

水道事業会計

◆水道事業会計 鉄さびの混入で654万円の損害賠償。内容と保険料は。賠償内容は原材料費、人件費、経費、利益損失、消費税

等。保険料は16万2千円だが、本件で更新後は倍位に値上る。

賛成全員で可決

文教福祉常任委員会

◆吉川市子ども発達センター

条例の一部を改正する条例 国の指針では、幼保育園から小学校までを訪問支援先として想定しているようだが、こども発達センターはどこまでの訪問を考えているか。

将来的には、保育所のみならず、国が示す学校等への訪問を考えているが、来年度は放課後クラスに通う児童を対象に行っていく。

賛成全員で可決

◆障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート基金条例

基金条例



基金は、実習受け入れのための支援やグループホーム整備促進に活用していくとの答弁であったが、具体的にどのような支援か。

検討段階ではあるが、体験実習を受け入れる企業等が受け入れに要する様々な支援や空きアパートや空家を活用して、整備するというようなグループホームへの支援を検討している。

賛成全員で可決

◆吉川市一般会計予算 コロナ禍において、女性や

若い方の自殺報道もあるが、当市の自殺の現状は。

当市の令和2年度の自殺者は、暫定値であるが11人となっており、令和元年度は10人であった。

児童虐待の関連で、児相と連携している児童の年間件数と一時保護対象者数は。

当市における昨年度の虐待相談対応件数は299件で、一時保護の対象者数は、現時点で3名である。

学校教育が大事。教育支援センターでやるべきことは。学校になじめない子供達が自立に向けた力をつけていくことがセンターの役割である。

賛成多数で可決

建設生活常任委員会

◆吉川市空家等の適正管理等に関する条例

代執行ができるとしているが、所有者に連絡が取れない場合の費用の負担について。

所有者に連絡が取れない場合は、所有者の把握に努めるが、それでも連絡が取れない場合は市の負担となる。なお、費用請求の対象者は所有者等である。

賛成全員で可決

◆地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
近隣地区との地区計画の内容の違いについて。

吉川美南駅東口周辺地区に地区整備計画を定めたのは、商業・業務ゾーンと産業ゾーンである。西口との違いは、商業・業務ゾーンは、多機能型のまちを目指しているため、ホテルなどの建設を可としている。また、道路境界線からの壁面後退について、西口では2メートルだが、東口の東口駅前通り線は、より開放的な道路空間を形成するため3メートルとしている。

賛成全員で可決



(跨線橋から見る吉川美南駅東口開発の様子)

◆吉川市一般会計予算
市民参加推進費・第4次男女共同参画基本計画策定のための基礎調査について。

今回の調査はインターネットを利用し、全体の約13%(67名)がウェブ回答だった。今後も様々な手法を活用し、多くの方から回答をいただきたい。

建築指導費・耐震診断・改修の補助の妥当性について。

市内建築士の団体と調整をした金額で、市民への負担は少ない。改修費用は、工事費を150万程度と見込んでおり、改修として満足できると考えている。

賛成多数で可決

一般会計補正予算
こんなことに使われます

●令和2年度一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出にそれぞれ9495万6000円追加し、総額は320億8204万円となりました。(2月臨時会)

●新型コロナウイルス接種事業
9495万6000円

接種券・予診票などの作成や、医療従事者等分の予防接種を行います。(※3月定例会において、一部を減額し、令和3年度予算に計上しました。)

●令和2年度一般会計補正予算(第9号)

歳入歳入予算にそれぞれ1億5405万3000円を追加し、総額は322億3609万3000円となりました。

●橋りょう維持補修事業
4422万円

道路や橋梁の維持管理をしていくため、近接目視による道路ストック点検を実施するほか、関橋の補修工事を行います。

●障がい者安心暮らしサポート基金積立事業
1800万円

障がい福祉サービス利用者の保護者からの寄附金を「障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート基金」へ積み立てます。

●線越明許費

小学校トイレ改修事業など19の事業を令和3年度へ繰り越します。

●令和3年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ4億7598万7000円を追加し、総額は230億5598万7000円となりました。

●新型コロナウイルス接種事業
4億1674万7000円

全市民を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種を行います。

会場に行くことが困難な65歳以上の要介護者等を対象にワクチン接種会場までの移動支援を行います。



(職員によるデモンストレーションの様子)

●新型コロナウイルス感染症対策事業
900万円

市内の高齢者及び障がい者を対象とした入所施設におけるクラスター発生を防止するため職員のPCR検査費用を補助します。

●商業活性化推進事業
5024万円

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う事業者へ支援策として感染症防止対策経費や飲食店等のデリバリーに係る経費等に対して補助金を交付します。

討 論

【一般会計】

一般会計予算に対し、4名の議員が討論を行いました。

― 反対 討論 ―

市民の会・無所属

岩田 京子

吉川市は当初予算編成にあたり「持続可能（SDGs）な街」を柱の一つに掲げた。

SDGsの達成、営政権が掲げた2050年二酸化炭素排出量実質ゼロにむけた取り組み、いずれもこの10年が勝負です。しかし、SDGsという大きな柱を掲げ、言葉としては至る所にちりばめられているが、令和3年度当初予算では具体的なもの、野心的な取組みが見えない。SDGsの基本の「ぎ」であるグローバルな視点と、生物圏・環境に対する考え方、また取り組み姿勢は不十分だと指摘せざるをえません。

日本共産党吉川市議団

遠藤 義法

市長の政治姿勢の問題点

第一は、「小さな声、声なき声」にしっかりと耳を傾けた事業」と強調しますが、避難所などで女性の視点が重要視されるなか、地域防災会議の女性の割合は15%でしかありません。外出支援策でも、タクシー利用料助成事業は、市街地でも必要とする市民が多くいます。が除外され、困っています。第二は、PCR検査、ワクチン接種の取り組みでも団体と市職員に依拠するのみです。市長は、胸襟を開いて市民の命や健康を守る姿勢に立つべきです。

― 賛成 討論 ―

未来会議よしかわ

稲葉 剛治

施政方針から吉川市は「価値ある未来を、共に」という

理念の元に、中原市長を先頭に職員のみなさんが事業に取り組んでいくという事が読み取れます。令和3年度は、3つの計画策定に取り組む年となります。市民の皆様から頂いた意見を取りまとめ、市民との共働により進められていくことが、これから先の未来に必要なと改めて確信しています。新たに方向性を打ち出した「スポーツ」と「環境」分野においての事業実施においても注目しています。

公明党吉川市議団

五十嵐 恵千子

新型コロナウイルス感染症の克服と経済回復、生活再建、ポストコロナ時代への転換を実行し、安心と希望を全市民へ届けるために、国の対策や予算措置を注視しながら「市民へのワクチン接種実施を最優先」との考えで編成された当初予算案には、①国土強靭化計画策定②児童虐待マニユアルの作成・周知③コミュニティスクールの導入④第一回吉川市展の開催⑤農福連携補

助や農地の最適化推進⑥下八間堀悪水路の改修整備等々、公明党が予てから提案してきた多くの事業が盛り込まれており高く評価し賛成とします。

【国民健康保険】

国民健康保険特別会計予算に対し、1名の議員が討論を行いました。

― 反対 討論 ―

日本共産党吉川市議団

雪田 きよみ

今回賦課限度額は引き上げられたが、国保税は据え置かれたことは評価する。

「吉川市国保財政健全化計画」には、低所得者の保険料軽減等を目的とする法定外繰り入れについて、財政調整基金を活用しながら2019年度から毎年度10%、2023年度までに50%削減すると記している。

将来、低所得者の軽減措置が削られ、負担が増大するリスクが高い。今でさえ高すぎで払えないという声が非常に多い。通院を諦めたとの声も

聞かれる。こうした状況を更に深刻にするリスクの高い赤字解消計画に反対する。

【介護保険】

介護保険特別会計予算に対し、1名の議員が討論を行いました。

― 反対 討論 ―

日本共産党吉川市議団

雪田 きよみ

コロナの影響で市民生活が深刻な状況の中で、今回介護保険料は据え置きされた。この点は評価したい。

全国的に訪問介護職員の高齢化が深刻な問題となっている。2019年の全労連の調査で、平均年齢55.5歳。50歳以上が全体の73.0%を占めている。市は市内事業所職員の平均年齢を把握し、訪問介護職員のなり手不足の原因を検討し、国に問題提起するべき。介護保険制度が改定のため使いづらいものになってきたことは間違いのない事実であり、市は要介護者の生活実態を十分調査するべき。

小学校35人学級への移行、 教室の不足見込みと今後は



林 美希

問 小学校全学年35人学級へ。教員や普通教室の確保が課題となると考えられるが、年齢別未就学児人口から教室の不足が見込まれる学校は。

答 美南小学校の教室数の不足が見込まれる。

問 不足教室数、不足するペースなど具体的には。

答 あくまで現人口ベース・特別支援教室が5クラスという前提になるが、現在42教室。教室転用を図り第二音楽室設置をした上で45教室確保。R5年度2教室、R6年度3教室不足の見込み。

問 普通教室が確保できたとして、一学校48クラスの学校運営は可能なのか。

答 中庭や特別教室の活用のシミュレーションをした上で、やりくりできるだろうと学校から回答をいただいている。

問 複合施設のメリットは大いにあったが、教室不足が見込まれるのであれば複合施設の解消と近場への移転を検討する必要があるのでは。

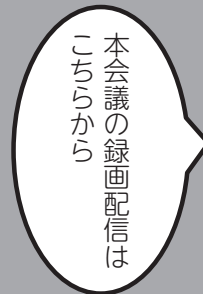
答 学校、地域にとって最適な形を検討していく。

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、6月上旬となる予定です。



本会議の録画配信はこちらから



市民の移動の確保へ 公共交通計画のあり方検討



降旗 聡

問 「市民の移動を確保する地域公共交通のあり方について」タクシー利用料金助成事業検討委員会でも、地域公共交通に関する計画の策定について指摘を受けている。①今後10年間のタクシー利用料金助成事業の予算の推移。②チケットの額面を少額にし、バスでも使える公共交通利用料金助成事業への転換について。③地域公共交通に関する計画の策定について、市の見解は。

答 ①高齢者の人口推計と世代ごとの運転免許保有率などを勘案して試算。今後5年後までに関係経費は約3割程度増加し、その後の5年から10年はほぼ横ばいで推移する見込み。②本事業は路線バスの補完を目的として、交通利便性の比較的低い地域の方を対象にしていることから、転換は難しいと考えている。③令和2年11月に持続可能な旅客輸送サービスの提供の確保などを目的として改正された「地域公共交通活性化再生法」が公布された。市としては、今回の法改正の趣旨を踏まえ、有識者や事業者などとの公共交通全般に関する意見交換などを通じて、計画のあり方を検討したいと考えている。

小中学校体育館照明のLED化 校庭の夜間照明について



成本 直寛

問 体育館照明をLED化すると、明るい、省エネ、長寿命、瞬時に点灯・消灯など多くのメリットが考えられる。今後、市内小中学校体育館照明をLED化する計画はあるか。

答 現在、吉川中学校を除く11校が水銀灯であるが、2020年以降、水銀灯の生産が中止となり、今後、交換が困難になると予想される。こうした事態により学校活動に支障をきたさないよう、照明器具に関する状況を注視しながら対応したい。

問 秋～冬にかけては日が落ちるのが早く下校時には周辺が真っ暗になってしまうため周囲の安全確保、また、部活動や学校開放においても夕方や夜間に校庭でスポーツができるよう照明をつけてほしい等の声が届いている。スポーツの機会を増やすため、非常時の避難場所の十分な照明確保の観点等から今後校庭に夜間照明設備を設置していく計画はあるか。

答 利用団体からの要望・利用実績・避難場所となっていることを考慮し、設置に関して求められる機能や課題等を整理すると共に、関係部署と連携をしながら研究していきたい。

「ワクチン接種」の 取り組みについて

稲垣 茂行



問 ワクチンの接種率向上には、正しい情報の提供が必要だと考えるが、どのように伝えるのか

答 接種により得られるメリットとデメリットを説明した案内を接種予定者へ配布するとともに、市のHPやコールセンターで丁寧に案内する。

問 予約システムと接種体制は

答 パソコンやスマートフォンで予約システムにアクセスし、希望会場及び日時を選択する仕組みを予定。なお、パソコンの使用が困難な方にはコールセンターで電話受付を行う。平日はおあしすを会場に、木曜日は6時間、それ以外は1時間30分。日曜・祝日は中央公民館を加え、6時間の実施。なお、個別接種は2医療機関で実施。

問 高齢者・障がい者施設等入居者への接種は

答 原則、施設内接種を予定している。

問 「キャンセル待ち」の導入は

答 限られた時間で予定を組み行うため困難。

問 「副反応」に対する対応は

答 接種後15分以上の健康観察を行い、アナフィラキシー症状等が出た場合は医師が対応する。

問 医師会との協議は整ったのか

答 「全面的に協力する」との言葉を頂いた。

地震対策の状況は

赤出川 義夫



問 市内で倒壊の危険性があるブロック塀は

答 平成30年に発生した大阪北部地震によるブロック塀倒壊事故を受け自治会と庁内関係各課に実態調査を依頼し97件の報告あり、報告のあった全ての塀を担当課が現地確認し危険性のある86件確認、所有者に倒壊時の危険性を説明、改善を求め6件対応、残り80件。今後も1年に1回追跡調査と啓発活動を継続実施する。

問 地震による家具転倒防止対策として市の補助を家具転倒防止器具等取付実施事業の状況は

答 平成27年19件、平成28年15件、平成29年8件、平成30年11件、令和元年19件、令和2年1件実施。

問 避難所の新型コロナ対策と備品等の整備状況について

答 避難所開設・運営における新型コロナウイルス対策マニュアルを策定、避難の際生活必需品に加えマスクや消毒液など持参いただくよう広報誌等で周知した。備品はパーテーション・簡易ベッド・消毒液・受付時に使用するガウン、フェイスシールドなどを整備した。

市街化区域の未整備の水路 について

中嶋 通治



問 未整備の水路は何本か。今後どの様に整備されるのか。

答 4本約250m。下流の整備状況を勘案し他事業とのバランスを考えながら早期整備に努める。

◆信号柱の設置について

問 10数年前から区画整理事務所と協議していたが進捗状況は。

答 他と旧大型スーパー北側の信号については今後も吉川警察署に要望していく。

◆災害ハザードエリア開発規制の見直しについて

問 調整区域には建物は建築出来なくなるが。

答 近隣と連携し県に話す。

◆農振地域除外申請について

問 許可迄の期間が長い。許可日数は適正か。

答 許可迄18か月程度かかっている。生活設計が崩れる。春日部農林に伝える。

◆3中学校の制服を選択制に

問 学校は人権について強く発信しないといけない

答 段階的に導入を検討する。

地域のまちづくりについて

松崎 誠



問 昨年11月末に東埼玉テクノポリス協同組合との意見交換が行われ、市側からテクノポリス拡張について課題等の説明をされたと聞いております。①市側からの説明内容②質疑応答の内容について伺います。

答 テクノポリス拡張予定地は農業振興地域の青地であることから三輪野江地区の白地の整備を計画的に進めなければ農林調整を進めることが非常に困難であり、協同組合の皆様是三輪野江地区の産業まちづくり地域の整備を優先することを報告しました。

問 旭地区・三輪野江地区は今後人口減少が進み、教育委員会の試算で東中学校の現生徒数は434人だが令和13年には141人、そして、旭小では108人、三輪野江小では139人との報告があります。市街化調整区域における既存集落の土地利用の規制緩和を図っては。

答 市街化調整区域は様々な土地利用制限があり開発規制が地域の人口減少、既存集落の形成、地域コミュニティの存続に大きな影響を与えて様々な法改正が必要であり県や近隣市町と意見交換し研究します。

住いと暮らしの安心を確保 する住居支援の強化を



五十嵐 恵千子

問 新型コロナウイルスの影響が長期化する中、家賃や住宅ローンの支払に悩む方が急増しており、居住支援の強化は一層重要です。①住宅確保給付金の利用状況は。②住宅確保給付金終了後、生活保護を受けたくない方は、低廉な民間賃貸住宅や公営住宅へ移るセーフティネット住宅制度の活用が可能だが、市内のセーフティネット住宅登録物件数と住宅情報提供数を伺う。③住宅部局と福祉部局の連携や相談体制の強化、市民への周知を。

答 ①相談件数は200件、支給決定は62件、支給延長は48件、支給とならない件数は90件。

②市内セーフティネット住宅登録数は、62棟499戸。令和3年2月現在空きはない状況。

③居住支援のニーズが高まり、連携強化が求められている。近隣市町と意見交換を行いながら、福祉部局との連携強化のほか、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の提供に努める。

問 災害時は、ペットにまつわる様々な問題が起きかねません。災害協定の締結も含め、民間活力を活かした「ドッグラン」誘致を。

答 NPO団体等の協力は必要と考え研究する。

これからの自治会の あり方について



大泉 日出男

問 ①現在の自治会数及び加入率は。また課題は。②活性化の為に運営の工夫、行政からの助言がされているか③自治会内でのデジタル化へ後押しする取組み、オンラインやZOOMでの打合せ、市からの広報活動、減災情報地域コミュニティの場を自治会内で共有ができないか④国では本年9月にデジタル庁が発足する。コロナ禍で分断を乗り越える一つの手段といえるが終息後も、つながる若者が自治会と関わり易いような創意工夫が必要。所内にデジタル推進課の設置の検討はどうか。

答 ①95自治会加入率69%で加入率の低下と役員のなり手不足が課題②「地域課題を地域で解決するための勉強会」の中で検討をしており、大学生の視点を取り入れた加入促進チラシを作成している。③ホームページ開設・更新・運用方法など問い合わせがあった。情報共有の迅速化や、活性化に有意義であると認識しているので引き続き情報収集の提供に努めていく。④現段階では検討していない。

補聴器購入の公的支援で 高齢者のいきいきした生活を



飯島 正義

問 耳が聞こえにくくなって日常的に困る高齢者が多く、外出をためらうなど社会参加が少なくなり、食欲も低下し、体力が無くなって、要介護状態に陥ると考えられています。平成30年度から国の3か年計画ですすめられている、聴覚障がい補正による認知症機能低下の予防効果を検証する研究内容の結果は。

答 まだ公表されていません。補聴器による認知症機能低下防止効果の検証をするための研究の動向を見守ります。

問 先日、店で補聴器の体験をし、話を伺いました。今補聴器の価格は、片耳で9万円位から両耳で高価なもので50万円を超えるものまであります。店の方は、価格が高いのが普及しない要因と話していました。足立区では、2020年7月に助成を開始し、言語聴覚士の無料相談も実施しています。市の考えは。

答 それぞれの団体で検討された結果実施しているものだと認識をしております。補聴器を用いた難聴の補正については、認知機能低下の予防効果があるかどうか、そこがポイントと考えております。

若年がん患者支援制度の創設を



雪田 きよみ

問 さいたま市は若年がん患者（20～39歳）の在宅療養支援制度を創設した。若年がん患者は介護保険の対象外であり、在宅療養を支援する公的仕組みがない。支援制度の創設は非常に重要と考える。市の見解は。

答 どのような病気でも相談があれば、状況に応じて行政サービスをご案内していく。

問 支援制度をつくることは、若年がん患者の在宅療養を応援するメッセージとして意義がある。見解は。

答 国の「がん推進対策計画」の中で在宅療養の支援の在り方を検討していくとある。国や県の動向を注視していく

◆コロナワクチン、十分な情報の提供を

問 接種するメリットとデメリット及び、接種をしないと選択した方が周囲からバッシングを受けないよう接種しない権利も周知する必要がある。市の見解は。

答 接種は強制ではなく、差別的な扱いをすることがないようにお願いする案内を配布、ホームページに掲載等により努めていく。

市行政は原点回帰し、現実 を見据えた責任ある行動を

齋藤 詔治



問 美南駅東口周辺土地区画整理事業について

①保留地処分金等で地権者への負担軽減として清算金の交付等は。②美南駅前の市所有地は、市民のもので。公正・公平な事業実施を。③吉川市が土地明渡し請求の裁判を起こしているながら和解を求める事態に。取下げるべきでは。

答 清算金を交付する事はありません。裁判は和解への努力をしています。取下げては問題解決にならず、審議が行われています。

問 吉川市農業パーク基本構想(素案)は、三輪野江地域以外の農用地で実施すべきでは。三輪野江地域は三郷インターがフルインター化され、これに基づき周辺開発が容易になります。

答 農商工一体となった持続可能な産業振興を図る為に、産業まちづくり地域に指定をします。

問 東埼玉資源環境組合吉川第2 処分場の活用は。

答 市ではスポーツ施設の一会場として検討。

問 本年度予算、市民税・固定資産税の収入が前年度より3億2千9百万円の減収に。

答 市全体では、税制改正や固定資産税の評価替えの影響や新型コロナウイルス感染症による個人市民税の減収が見込まれます。

多くの事業計画、 進め方と市の財源は

遠藤 義法



問 ①吉川美南駅東口周辺開発の市公共施設・公園等整備内容。②三輪野江農業パーク構想の取り組みと情報開示。③旧市庁舎跡地の利活用。④東埼玉専用道路建設に伴う、市道の計画と地元説明会開催は。⑤防災センター建設計画と住民説明会の実施。⑥財源見直しは。

答 ①商業ゾーン南側の公共施設(約3千㎡)は、検討委員会で話し合い令和3年度中に基本構想と基本計画を作成する。地区中央の公園は、意見を反映、計画案の作業を進めていく。②地元・地権者の同意が前提。農業パークを基本構想案としてパブリックコメントを行い、市民、議会にも丁寧に説明させていただく。③地域コミュニティを支える福祉的拠点機能が必要。今後予定しているアンケート調査などを踏まえ、施設や民間活用を検討していきたい。④国交省は、東埼玉専用道路の設計を進めており、越谷総合公園川藤線について関係機関と協議、その中で地元説明会を開催していきたい。水防センターは、江戸川防災ステーション計画と合わせて地域住民と意見交換したい。⑦市税の動向、地方債の活用など勘案する。

三輪野江地区農業パークは しっかりと検討を

吉川 敏幸



問 国土交通省のホームページにも公表されている市の農業パーク整備事業。民間事業者からの基礎概要が欲しいとの質問に、市は「当地区は一部水田地帯が残っているが、大部分は住宅及び産業廃棄物施設が占めている」と回答している。このような土地が農業パークに向いていると思っているのか市の見解を伺う。

答 圃場であることには変わりはない。これから事業区域、規模等を検討するにあたり、考えていかなければならないところ。立地的視点から見れば、フルインターができ、白地地区であることから、当地区に整備すべきと考える。

◆軽トラ市で農業生産者に安定した収益と地域の活性化を

問 地元生産者の所得支援、消費者も新鮮で安心、安価な地元野菜を食することができるなど地域活性化のメリットがある軽トラ市の開催について市の見解を伺う。

答 今年度立ち上げた吉川市農業活性化検討会議の中で、朝市や夕市などの提案も出た。今後、実現に向けて検討していく。

土壌を守って健全なまちへ 学校給食を起爆剤に！

岩田 京子



問 3分の1が農地の吉川市では、土壌を守ることは街づくりそのものとするが、どのようにしたら土壌は守れると思うか。市の見解はまだないので、環境課・農政課の視点で部長個人の考えをお聞きしたい。

答 土壌に関しては大気や水と同様、生態系の多様性を構成する環境要素の一つ。生物多様性の観点でも、重要な役割に脚光を浴びてきた。土壌の大切さを市民にも啓発していきたい。

答 農地は治水・環境保全に貢献している。農地を守ってきたことが、美しい田園風景を創出し、一定の評価をいただいている。生物多様性を意識して土づくりをする手法に有機農業がある。市内にも有機栽培の生産者が数人いる。

農業経営とバランスよくやっていくのも大切で、人・農地プラン等で今後の活用や保全について地域の方々と考えていきたい。

問 有機とは違うが、減農薬の特別栽培米が今年に入って1か月間、学校給食に活用された。差額60万円の処理についてと、事業継続の予定は。

答 差額は発生していない。また次年度、事業を継続する予定はない。

ホームページ、ぜひご利用ください！

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

吉川市議会



◆ご意見・ご感想をお寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお寄せください。

〒342-8501
吉川市きよみ野一丁目1番地
吉川市役所 議会事務局
FAX 048(981)5392

**「会計年度任用職員制度」
もっと大事にもっと活用を**



伊藤 正勝

問 会計年度任用職員が今年度からスタート。どう変わったか。財政負担についても伺いたい。

答 法の改正で臨時職員の多くは会計年度任用職員になった。身分は地方公務員に準じ年度内の短期雇用の位置付けだが、期末手当や休暇の取得も可能となった。財政負担は年間5500万円程になる。

問 現状と業務改善への効果は如何ですか。

答 令和2年4月現在、正規職員は414人。会計年度職員は329人。コロナ対応等での途中公募も実施。年度末の数値は389人になる。

問 採用や業務の内容。男女比。雇用の継続・更新についても伺いたい。

答 新年度の採用は各部の責任で行った。一般事務職が50人余。保育、学童保育。福祉関係の支援員等が多く女性が8割を占める。継続更新については把握していない。

問 大きな制度変更。働く人の立場に立ち業務改善に役立ててほしい。

答 働かせ方や有効活用との言葉には違和感がある。一緒に働くパートナーとして多様な人々に参画してもらうことも考えている。

意見書

◆意見書

今定例会には2件の意見書が提出され、次の1件を可決、埼玉県知事へ送付しました。(一部抜粋)

重度心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書

重度心身障害者医療費助成制度は、障がいがある方とその家族の経済的負担を軽減するため、医療機関を受診した場合の医療費の一部負担金を、県と市町村で助成する制度です。「重度心身障害者医療費助成制度」の対象者は、身体障害者手帳は1〜3級、知的障害は療育手帳マルA、A、Bとされていますが、精神障害は精神障害者保健福祉手帳1級のみが対象とされ、精神障害2級は対象外です。また、精神障害1級でも精神病床への入院費用は対象外とされています。精神障がいが見た目には分かりにくく、仕事や勉強や家庭生活が思うようにできない「生きづらさ」を抱えています。安定した生活

を送るためには長期にわたって薬を服用し続けることが大事です。また症状が治まっていても再発のリスクがあります。精神保健福祉手帳2級所持者の多くは、安定して働き続けることが困難で、経済的に困窮している世帯が多いのが現状です。また当事者の家族も高齢化し、医療費の負担も重くのしかかっています。命を守る施策として、以下の2点を強く要望します。

1. 精神障害者保健福祉手帳2級所持者を、「重度心身障害者医療費助成制度」の対象に拡大すること。
2. 精神科病床への入院も、「重度心身障害者医療費助成制度」の対象に拡充すること。



3月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)

◎=議案提出者

	議決結果	自由民主党					市民の会				未来		共産		公明			無	無	
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛
《市長提出議案》																				
吉川市空家等の適正管理等に関する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市道路の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市子ども発達センター条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート基金条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について(盛土工事11)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約変更の締結について(汚水・雨水管渠布設工事5)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約変更の締結について(盛土工事9)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約変更の締結について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市一般会計予算	可決	○	○	議	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○

	議決結果	自由民主党			市民の会			未来		共産		公明		無	無							
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡	
令和3年度吉川市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年年度吉川市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市介護保険特別会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市水道事業会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市下水道事業会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
《議員提出議案》																						
重度心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	否決	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2月臨時会審議結果一覧

令和2年度吉川市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-----------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

* 会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」、「自由民主党」は「自由民主党吉川市議員団」、「市民の会」は「市民の会・無所属」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」の略です。「無」は会派に属さないものです。

● **議会活性化特別委員会 中間報告**

吉川市議会業務継続計画(吉川市議会BCP)を策定しました。

この計画は、地震、風水害等の大規模災害や、新型インフルエンザ等の感染症が発生した際に、吉川市議会および議員が市の設置する災害対策本部等と連携を図り、適切な行動が出来るよう必要な事項を定め、共通認識を持つことにより、議事機関および市民の代表機関として責務を果たすことを目的としております。

高齢者施設職員等へのPCR検査の実施対象を全県に拡充することを求める要望書

令和3年2月3日、埼玉県に対し要望書を提出しました。

【要望事項】

1. 県が所管する高齢者人施設職員へのPCR検査の対象を全県に拡充すること。
2. 県が所管する障がい者人施設職員へもPCR検査の対象とすること。
3. 県が所管する訪問及び通所系サービスに従事する障がい・介護職員もPCR検査の対象とすること。



次定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
			6月2日 本会議 (開会日)	6月3日 休会日	6月4日 本会議 (議案審議)	6月5日 休会日
6月6日 休会日	6月7日 委員会 (総務水道・ 文教福祉)	6月8日 委員会 (建設生活)	6月9日 委員会 (請願審査)	6月10日 休会日	6月11日 本会議 (委員長報告)	6月12日 休会日
6月13日 休会日	6月14日 本会議 (一般質問)	6月15日 本会議 (一般質問)	6月16日 本会議 (一般質問・ 閉会日)	本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。 本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。		

※傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、傍聴自粛のご協力をお願いする可能性があります。

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。
ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

編集後記

三月議会が終了いたしました。
朝、昼、夜の寒暖の差が特に格別で、体調管理が大切な季節です。
ふと、桜の枝をよくよく観ると、少しづつ、ゆっくりと耐え忍びながら
咲こうとしている生命力を感じさせられます。
今年も、東日本大震災から十年が経過。当時自宅への帰宅は午前二時だ
ったと記憶しております。この震災から私たちは様々な教訓を得ました。
そして、今回は人類が誰も経験した事がない感染症に直面。このピンチを、
きつとチャンスに変える事が必ずできると、あの満開の桜が教えてくれて
いる、そんな気がいたします。

大泉日出男

表紙の写真



表紙の写真は、北側の暫定利用が
始まった吉川橋と、春を彩る市内の
桜と菜の花です。昨年につき、新型
コロナウイルスの感染拡大により花
見を自粛された方も多いかと思いま
す。吉川橋の全面開通をする頃には、
コロナ禍が終息し、皆様が不安なく
過ごせる毎日を取り戻していること
を心より祈っています。
(吉川橋は令和4年春に4車線の完
成を予定しています。)